

傳設計ニュースレター

CONTENTS

◆今、伝えたいこと
～働き方改革について
考える～

◆避難安全検証法

◆新人1年目 初仕事を終えて

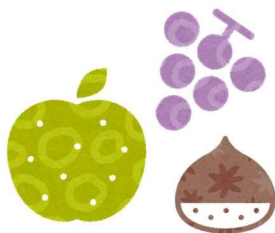
◆大きくても小さくてもNG
かぶり厚さについて

◆快適な教育環境を創造します
～中原工業株式会社様～

◆創立記念日

◆舞鶴探訪(2)

◆社員名鑑



今、伝えたいこと ～働き方改革について考える～

この度の令和元年8月の前線に伴う大雨、令和元年台風第15号により、お亡くなりになられた方々のご遺族の方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されました多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様のご無事と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、大企業では、すでに実施されております、働き方改革。中小企業は来年度からの実施となり、弊社でも、昨年より徐々に準備を進めているところです。働き方改革について学んでいくと、それは国の政策や制度に大きく関わっていることに気がきました。1961年に年金制度が始まって60年近くが経とうとし、世の中は大きく変わりました。当時、日本人の平均寿命は、男性65.3歳 女性70.1歳でしたが、今では、男性81.2歳 女性87.3歳にまで延びています。いよいよ人生100年時代、といったところでしょうか。

以前より定年が10年延びるということは、その当時の方々より10年長く働くことになります。医療が進歩しているため、大きな病気を抱えながらも仕事を続けることはできますが、働きすぎて体調を壊さないようにすることは、自分のためとも言えますし、それは医療費を自ら減らし、若い世代の負担を軽くすることにも繋がります。長く働くことは、経済的にもメリットがありますが、それ以上に社会と繋がっていることで、本人が得られるものは確かに大きく、社会に認められたい、社会の役に立ちたいという欲求を満たし、生き生きと生きていくことができるのは想像ができます。生きがいを持つことは大切です。

労働時間を減らしながら、今までと同じ業務をするのには効率化が必要です。弊社で取り組んでいるのは効率化と生産性向上の具体的な方法の検討です。今後は、労働人口が減っていくのでどのように人材を確保していくのかということも大事なことです。外国人労働者の力も借りながら、協働していくことも大切になってきます。いろいろな国の方々と弊社ビルの下の食堂で一緒にランチをする時が来るかもしれません。そこまでがんばっていきましょう。（代表取締役 岩本茂美）



★還暦を祝ってもらった際に★

岩本 茂美（いわもと しげみ）

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

地震や台風などにより、地域全体がいろいろな影響を受けることがあります。弊社では、防災グッズの購入を決めました。BCP（事業継続計画）対策を打つことは待ったなしだと思っています。



★まずは、全員分のヘルメットを購入しました★

★避難安全検証★

「避難安全検証」という言葉を耳にされたことがあるでしょうか。建物を建てる際、その用途や規模により、さまざまな法規制が発生しますが、それに対し、この建物は安全に避難できるということを検証、つまり「避難安全検証」を行うことで、適用法規の除外や緩和を受けることができるというものです。

最近設計した展示場では、大空間の展示ホールと収容人数に規制がかかり、さらに階段は7ヶ所も計画されていました。そこで「避難安全検証」

」を活用し、大空間の展示ホールと約2,000人(1フロア)の収容人数を確保し、さらに正面部分の階段を2ヶ所減らすことができました。



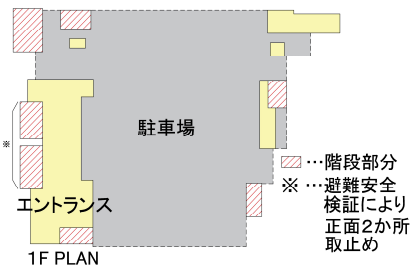
★すっきりとした正面パース★

を進めていかなければなりません。それでもお客様の要望をできるだけいい形で実現できるよう、費用対効果も考え、上手に活用していきたいと思います。(仲田)



★大空間の展示ホール★

もちろん、避難安全検証を活用すれば、法規の全てが適用除外や免除になるわけではありません。また、煙の流れが重要となるため、建具の位置や高さ、天井高さ、床面積など、ひとつでも変更すれば再度検証が必要となり、普段より時間を要することになります。より自由な設計が行えと同時に、より慎重に設計



★階段の多い平面プラン★

1年目の金城です。私たち1年目は、5月から7月にかけて、福岡県内某町の町立体育館の設計プロポーサルに取り組んでいました。設計プロポーサルとは、建築物の設計者を選定する際に、複数の者に設計の企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定する選定方式です。



★設計敷地 体育館前の運動場★

約2ヶ月間、いろいろな角度から提案書を作成し、その後、町役場に出

向き発表に臨みました。結果は、残念ながら落選でしたが、今後、傳設計で仕事をしていく上で最も大事な、仕事のスタンスについて学びました。

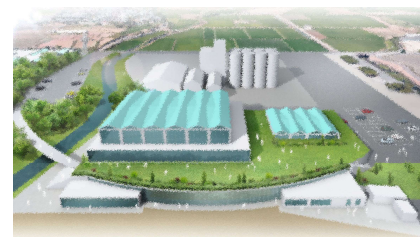


★提案書作成風景★

一つは、独りよがりにならないこと。お客様の気持ちに本当の意味で寄り添うということは、言うまでもなく難しいことです。私たちが行った提案がお客様の要望と別の方向を向いているとき、私たち設計者の仕事

は、簡単に独りよがりになってしまうのです。もう一つは、工程表を始めとする、『約束』を守ること。建築は、お客様はもちろん、さまざまな協力会社の方々と共に仕事をします。協力していただいている方々の予定に配慮した工程表や、決められた締め切りは守らなければいけないということです。

これらが当たり前でできる設計者を目指し、仕事に取り組んでまいりたいと思います。(金城)



★提案した体育館のパース写真★

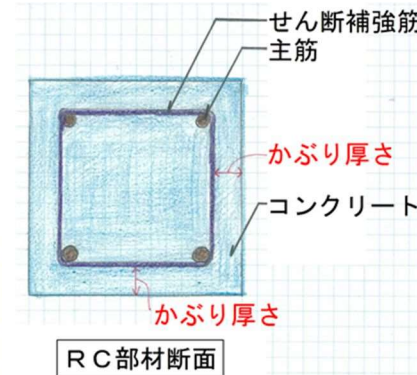
★新人1年目 初仕事を終えて★

★大きくても小さくてもNG。かぶり厚さについて★

鉄筋コンクリートは、鉄筋+コンクリートで構成される材料で、鉄筋をコンクリートで包んでいます。この包んでいる厚さについてお話しいたします。この厚さのことを「かぶり厚さ」と言い、正確には「コンクリートの表面からコンクリートの中にある鉄筋の最外面までの最短距離」のことをいいます。

「かぶり厚さ」は、鉄筋を腐食から守る役割を担っています。仕組みは、強アルカリ性であるコンクリートが鉄筋を覆うことで鉄筋の酸化を防

ぎます。しかし、空気中の二酸化炭素と反応することにより酸化を防ぐ力が少しずつ減少していきます。これを「中性化」と言い、中性化が進行し鉄筋まで到達すると鉄筋が腐食を始めます。このため、かぶり厚さを確保することは重要です。



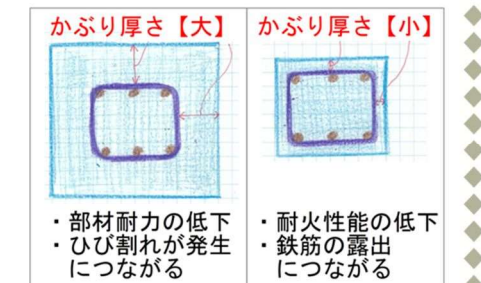
★かぶり厚さの説明★

上記を踏まえると、「かぶり厚さ」を大きく確保すれば良いように思いますが、鉄筋を腐食から守るために

かぶり厚さを大きくすれば、鉄筋コンクリート部材そのものの耐力低下やひび割れの発生につながります。

逆に、「かぶり厚さ」が小さいと、中性化の他に耐火性能の低下や鉄筋の露出につながります。

「かぶり厚さ」は、最小値のみ建築基準法施行令で規定されています。耐久性と耐力のバランスを考えながら適切な設計を行い、長期間にわたり建物を使用する助けになればと思っております。(堀内)



★かぶり厚さの違いによる比較★

NEW&HOT

TOPIX

福岡市博多区に本社がある、中原工業株式会社様は、内装業から建材まで、幅広く事業を展開されています。特に本業とされている、『黒板・ホワイトボード』の製作・施工は、西日本地域一帯まで販路拡大されており、学校・施設の大型黒板からオフィス用の壁掛けホワイトボードまで、自社にて製作されているとのこと。今回は、『黒板・



★博多区空港前本社★

ホワイトボード』について、詳しくお話を伺うことができました。

「近年では、プロジェクターとホワイトボードを連動させた電子黒板も普及してきており、小中学校・高校・大学まで導入が進んでいます。デジタル教材を使用して、算数の立体図形を回転表示したり、タブレット端末と電子黒板を連携させた授業を行うことができます。最近、注文やお問い合わせが多い『壁面ホワイトボード』という製品があるのですが、その名の通り、壁全体がホワイトボードになっており、大量の情報の書き出しやマグネットによる掲示が可能です。また、プロジェクターでホワイトボードに直接映写することもでき、大学の講義室や、オフィスの会議室、幼稚園や保育園の『らくがきボード』として活用していただいています。現状の壁の上に施工が可能



★壁面ホワイトボード★

ですので、大掛かりな工事でも必要ありません。」

壁全体がホワイトボードとなり、子供から大人まで、多種多様な使い方ができる『壁面ホワイトボード』は、たいへん魅力的です。また、中原工業株式会社様は、設計から製作・施工までされているので、設置箇所や使い方に合わせた、細かい要望があっても、安心してお願いすることができます。(中牟田)

★快適な教育環境を創造します～ 中原工業株式会社様～★

★創立記念日★

弊社では、毎年8月1日に創立記念式典を行っており、今年で29回目となりました。例年はホテルの会場を借りて行っていましたが、今回、新社屋の完成に伴い、創立記念式典をビル内にある「なごみ会議室」、懇親会を1階テナントの「なごみ食堂」にて行いました。

新社屋で式典を行うにあたり、会議室のレイアウトを考えたり、スクリーンの無線接続の設定を行うなど、今までにはないことが多々あり、ギリギリまで苦労しましたが、何とか無事に終わることができました！毎年、運営側としての反省をあげ、次回に繋げていくようにしていますが、毎年違うハプニングがあり、なかなか思うようにはいきません(泣)。

来年は、節目の30回目の創立記念となりますので、今までの反省を生かし、且つ、思わぬハプニングがあっても乗り越えられる運営力を身につけたいと思います！（土井）



★社長による経営指針発表★



★懇親会にお寿司♪★

★舞鶴探訪（2）★

今回は、舞鶴に移転した当初より、多くの方にご紹介いただいております、イタリアンのお店、「クチーナ マリーノ」さんに行ってみました。

場所は、当社ビルからすぐ近く。私の足でも1分かかりません。以前、12時過ぎに行った時はすぐに満席になったので、今回は13時から行きましたが、それでもなかなか多いという。さすがです。

さて、今回、お願いしたのはパスタランチ。二種類のパスタから選択できるということで、私は「夏野菜パルメザンチーズのクリームソース」をお願いしました。さらさらクリームソースに、パルメザンチーズとブラックペッパーが効いていて、おいしかったです。また、「きのこのパイ包みスープ」もまた美味。かなり満腹になったのに、そのお味と素敵な雰囲気、もう少しゆっくりしたくなってしまい、ドリンクを追加。クチーナ マリーノさん、お昼もですが、夜も営業されているそうです。皆さまもぜひ。(古屋)



★これにサラダも付きます★

＜お店情報＞

クチーナ マリーノ
(Cucina Marino)
福岡市中央区舞鶴
1-4-31
092-714-0773

社員名鑑 vol.32

社歴: 1年6ヶ月

所属: 設計部

主な業務: 意匠設計

趣味: 自動車 学生時代は自動車部に所属し、モータースポーツをしていました。ゆっくりとドライブするのも好きです。

私は現在、木造建物の監理業務を行っています。今までは社内では図面や書類の作成をすることが多かったのですが、実際に現場に行くことで気づくことがありました。日々知識や経験を積み重ね、施工時に本当に必要なのか、どこの寸法なのか、どこの図面なのか、現場のことを考えながら作図できるようになりたいと思っています。

私は、建築によって人や街、そして社会はどう変わるのか考えるときがあります。大学の卒業設計では、「農業を建築のフレームに入れ可視化する」をテーマに、建築によって農業のかたちを変えることにチャレンジしました。微力ではありますが、福岡の街を建築の力によって良い方向へ変える手助けができればと思っています。

◆ 編集後記／／／随分と暑い夏でした。
◆ あそこまで暑いと外出しようと思っても、
◆ 「熱中症になってしまう」、8月終盤に続いた大雨の時には、「危ない」と思い、
◆ 出かけるに出かけられませんでした。この状態で無事に発行できるのかと心配になりましたが、何とか間に合い、ほっと一安心したところです。／アンケートを同封しておりますので、ニュースレターのご意見、ご感想をお聞かせいただければ幸いです。(古屋)



「想い・安全・未来をカタチに」

株式会社 傳設計
DEN ARCH. & ENG. OFFICE

ADD: 〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル

TEL: 092-737-1500 (代表)

FAX: 092-737-1501

